

平成30年度 第1回久留米市地域公共交通会議 議事録

項目	内容
開催日時	平成30年6月27日(水) 15時30分～17時00分
開催場所	久留米市役所 4階 401会議室
委員等の 出欠状況	委員(23名)出席19名<内代理5名>、欠席4名 臨時委員(4名)出席 4名 オブザーバー委員(1名)出席 1名
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶(森副市長) 〔事務局より〕</p> <p>(1) 委員の再委嘱・交代等について</p> <p>(2) 委員、臨時委員30名中23名の出席をもって、設置要綱第10条第2項に基づき会議成立を報告</p> <p>(3) 傍聴希望がなかったことを報告</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) <u>議案第1号 平成29年度久留米市地域公共交通会議決算について</u> 〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入総額7,286,712円(その内「よりみちバス」運行の国庫補助5,508,000円)。歳出は「のりもの・おでかけマップ」の作成費が主なもの。 ・地域公共交通会議監事の久留米市校区まちづくり連絡協議会会長 古賀秀心氏と久留米商工会議所中小企業相談所地域振興課長 古家美恵子氏に会計監査を依頼し、適切な執行を確認いただいた。 →古賀氏より、適切な執行であることの報告あり <p>(2) <u>議案第2号 平成30年度久留米市地域公共交通会議事業計画及び予算案について</u> 〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の事業としては、バス停の環境改善(上屋整備)や、くるめ日帰りバスパックの更なる周知、利用促進を交通事業者、沿線施設と協力し継続する。 ・生活支援交通「よりみちバス」の周知・利用促進を進める。 ・久留米広域連携中枢都市圏の事業でもある「のりもの・おでかけマップ」の更新を行う。 ・平成30年度の予算については、マップの更新費用1,860千円、会議運営費79千円、計1,939千円を市からの負担金として計上。1月に市長選があったため市の本予算を6月議会に

項目	内容
議事概要	<p>上程しており、市の負担金に関しては議会承認後確定する。国庫補助については、「よりみちバス」の運行実績によって大きく増減するため、昨年度の実績である5,508千円を予算額として計上している。</p> <p>〔議案第1号、議案第2号の主な質疑応答〕 なし</p> <p>●議案第1号および議案第2号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(3) 議案第3号 平成31年度久留米市生活交通確保維持計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)の策定について 〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は、「よりみちバス」の運行に対して国庫補助を活用するために策定が必要なもの。 ・計画上の目標として、1便あたりの平均利用者数を1.5人とする。また、路線バスと共通で利用できる1日乗車券の路線バスでの利用者数、市民意識調査に基づく公共交通の満足度も昨年度同様目標として設定する。 ・補助の基準が厳しくなっており、片道1便あたり1名以上が求められている。利用者数を更に増やしていくことが求められる。 ・みやき町と大刀洗町にも運行しており、計画策定の際にはそれぞれ同意していただく必要がある。内容については既に承認を受けており、後日書面にて整理を行う。 <p>〔議案第3号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 対象地域がこれから拡大することはあるのか。 (事務局) 公共交通が不便な地域もまだあるので、対象地域を広げていきたいと考えているが、現段階では決まっていない。 (委員) 目標はすべて達成しなければならないのか。達成度が補助金に影響するのか。 (事務局) 現時点では目標の達成状況により補助金が減額されることはないが、目標を達成できるよう努力したい。</p> <p>●議案第3号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(4) 議案第4号 「よりみちバス」の運賃設定の変更について 〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回乗車券を購入するのが手間、頻繁に利用すると結構な運賃がかかってしまうという声もあり、1ヶ月1,000円の

項目	内容
議事概要	<p>定期券を導入したい。新規利用者の獲得と既存の利用者の経済的負担を軽減し、定着利用と更なる利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に数回使う方の半数、週に1回以上使う方全員が購入した場合、新たな新規利用が全くない場合でも、定期利用者による利用が増えることで約18%利用者が増えると試算。 ・また、小学生とその保護者1名までを対象とした夏休み期間の「よりみちバス」無料体験乗車キャンペーンを実施したい。これは、利用促進だけでなく、地域の公共交通に親しんでもらう目的もある。通常、小学生の運賃は100円だが、期間中運賃は久留米市が負担する。 <p>〔議案第4号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 定期券利用による収入の変化はどのように試算したのか。</p> <p>(事務局) 定期販売をすることで使いやすさを感じてもらい新規利用者が増えていくと想定。新たに月当たり9回程利用が増えれば、定期導入による減収は相殺出来ると試算している。</p> <p>(委員) これまでは運賃がかかるため抑えていた利用者もこれを機にお出かけの機会が増えることも是非視野に入れてほしい。</p> <p>(委員) 定期券の実施は、国に運賃変更の届出が必要となるが、いつから実施する予定なのか。</p> <p>(事務局) 現時点では具体的な時期は決まっていないが早めに実施したい。届出は実施の1ヶ月前までに行う予定。</p> <p>(委員) 運賃が割引され100円になる人に対しての定期券は考えているか。</p> <p>(事務局) 現段階では定期券はどの方も1000円で考えている。</p> <p>●議案第4号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(5) <u>報告第1号 「よりみちバス」の利用状況等について</u></p> <p>〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野地域の「コスモス号」、城島地域の「インガット号」の利用状況について説明。 ・城島地域では3月、北野地域では4月に運行ルートとダイヤ改正を行い、同時に一カ月間の無料キャンペーンを行った。 ・キャンペーン期間には多くの利用があり、ダイヤ改正後利用者が増加した。 ・キャンペーン期間中に車内で行ったアンケートの結果を報告。 <p>(6) <u>報告第2号 久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について</u></p>

項目	内容
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・指標①について、市民意識調査における「公共交通網の整備」に対する回答結果を得点化したもので、平成29年度末時点で3.12となっている。 ・指標②と⑧について、鉄道駅の乗降客数や公共交通利用率は昨年度と同様であった。 ・指標③について、中心部での人の定住が中心拠点での公共交通の利用回数の増加が指標の増加に繋がる。 ・指標④について、暫定値ではあるが、年々増加している。 ・指標⑤については「よりみちバス」の導入地域は昨年度から変わっていないため昨年度と同様。同じく指標⑥も新たな駅のバリアフリー化は行っていないため昨年度と同様。 <p>〔報告第1号、報告第2号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 北野地域のアンケートで前回と今回の実数が同じなのに、母数が違うことで割合が減少しているような印象を受ける。また、設問を組み合わせ集計してはどうか。</p> <p>(事務局) 今後グラフの表現の仕方については考えたい。また、クロス集計による分析を行い、次回報告する。</p> <p>(委員) 利用者が増加し、無料期間でなくても1便あたり1人の値を超えてきており、「乗り合い」の状態になったことは評価できる。アンケートでは城島地域の回答数が少ないのは何故か。</p> <p>(事務局) アンケート実施に関して、事業者と行き違いがあり、利用者が回答しづらい期間があったため。</p> <p>4. その他 特になし。</p> <p>5. 閉会</p>

平成30年度 第1回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
1	第1号	久留米市	副市長 森 望	◎	
2	第2号	西鉄バス久留米株式会社	常務取締役営業本部長 亀崎 元治	◎	
3	第2号	堀川バス株式会社	取締役統括部長 田中 智太郎	○	主任 園田 洋輔
4	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	◎	
5	第3号	九州旅客鉄道株式会社 久留米鉄道事業部	部長 鯉谷 彰	◎	
6	第3号	西日本鉄道株式会社鉄道事業本 部営業企画部	計画課長 川津 匡宏	◎	
7	第4号	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事 中川原 達也	◎	
8	第5号	福岡県筑後地区タクシー協会	会長 中川 恵司	○	専務理事 野口 安博
9	第5号	久留米市タクシー協会	会長 浅倉 武巳	◎	
10	第6号	久留米市校区 まちづくり連絡協議会	会長 古賀 秀心	◎	
11	第6号	久留米 男女共同参画推進ネットワーク	事務局長 吉岡 マサヨ	◎	
12	第6号	NPO法人 ル・バトー	理事 佐々木 久美子	◎	
13	第6号	NPO法人 高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎	
14	第6号	子育て支援団体 もーりえ	代表 田町 菜穂子	×	
15	第7号	国土交通省 九州運輸局福岡運輸支局	支局長 坂本 正弘	○	首席運輸企画専門官 松原 裕二
16	第8号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部副執行委員長 箆島 健嗣	◎	
17	第9号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 野村 文彦	×	
18	第9号	福岡県県土整備部 久留米県土整備事務所	地域整備主幹 一木 誠司	◎	
19	第9号	久留米市都市建設部	部長 志賀 浩二	◎	
20	第10号	久留米警察署	交通第一課長 井上 秀晴	◎	
21	第10号	うきは警察署	交通課長 小原 栄一	○	交通課交通係主任 松重 正浩
22	第11号	福岡大学工学部	教授 辰巳 浩	◎	
23	第11号	大分大学経済学部	准教授 大井 尚司	×	
24	第12号	福岡県企画・地域振興部 交通政策課	係長 堺 裕之	○	交通総務係主任主事 奥野 未来
25	第12号	久留米商工会議所 中小企業相談所地域振興課	課長 古家 美恵子	×	
26	第12号	久留米市身体障害者福祉協会	役員 田村 美雪	◎	

平成30年度 第1回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
27	臨時	城島地域生活交通検討会	座長 鐘ヶ江 順市	◎	
28	臨時	城島地域生活交通検討会	副座長 鷲頭 光子	◎	
29	臨時	北野地域生活交通検討会	座長 南島 和夫	◎	
30	臨時	北野地域生活交通検討会	委員 鐘ヶ江 一枝	◎	
—	オブザーバー	国土交通省九州運輸局交通政策 部交通企画課	課長 鈴木 圭祐	◎	

【◎出席、○代理、×欠席】